

歴史コラム②7

盧震鉉牧師と回顧録

李 清 一 (歴史編纂委員会)



前列右・盧震鉉牧師、左・朱基徹牧師

金武士牧師より盧牧師の回顧録をいただいた。盧牧師は、回顧録「真実と証言」

昨年、大阪西成教会の金武士牧師より盧牧師の回顧録をいただいた。盧牧師は、回顧録「真実と証言」

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に



神からの義

第1コリント 4章1-5節

金 武 士 (大阪西成教会牧師)



の信仰生活のなかで、神に義とされることが、私たちの慰め、平安、喜びとなり希望とされていくのである。

今日、大きくはテロや戦争被害者のケアの問題が、また社会的には、さまざまな犯罪被害者の精神的なケアの問題が深刻な社会的課題となっている。

この1年も、この神の義による癒しの福音、「十字架の道」を熱心に弛みなく伝え、証し続ける在日大韓基督教教会に属する群れでありたいと思う。

総幹事活動日誌

●会議・集会

○つくば東教会諸職員7人との話し合い

日時：1月6日

場所：つくば市

○日本聖書協会と韓日讃頌歌販売の会議

日時：1月8日

場所：日本聖書協会事務所

○RAIK小委員会

日時：1月11日

場所：東京教会

○総会機構改編研究委員会

日時：1月11日

場所：日本聖書協会事務所

○RAIK小委員会

日時：1月11日

場所：東京教会

○総会機構改編研究委員会

日時：1月11日

場所：日本聖書協会事務所

○RAIK小委員会

日時：1月11日

場所：東京教会

○総会機構改編研究委員会

日時：1月11日

場所：日本聖書協会事務所

○RAIK小委員会

日時：1月11日

場所：東京教会

○総会機構改編研究委員会

日時：1月11日

場所：日本聖書協会事務所

○RAIK小委員会

日時：1月11日

場所：東京教会

○総会機構改編研究委員会

日時：1月11日

場所：日本聖書協会事務所

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

の前半を断片的に拾って来た企業から一方的に切り捨てた通告(リスト)とされ、たのき背信感と虚脱感に

不動産業務全般

免許番号・愛知県知事③第5426番

太栄企業株式会社

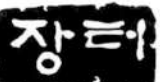
代表取締役 金 光 洙 (名古屋教会 長老)

事務所 名古屋市中区熱田区川並町2番21号 (名古屋市中区中央御売市場入口南側太栄ビル) 電話 052(682)1177(代) 自宅 名古屋市中区千種区御影町2-55-5

株式会社 ニューキング 愛

取締役社長 李 鍾 善 (名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1 TEL (0593) 31-4771(代) 三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1 TEL (0564) 31-8893(代)



韓国食品・書籍・CD・ビデオ

(株)韓国広場

新宿店：東京都新宿区大久保1-17-7 TEL (03) 3232-5400 FAX (03) 3200-2949

代表取締役 金 根 熙

東京総会神学校コラム

「새 길을 바라보며」

4学年 金喜淑



하나님께 마음 문을 열어드릴 때마다 그리스도의 비밀을 알게 하신 귀한 생명을 주신 사랑에 감사를 드립니다. 총회신학교의 졸업생이 되고 지난날을 돌이켜 볼 때 너무나 귀한 시간이었으며 더 많은 것을 실제 체험할 수 있는 아름다운 특별 군사 훈련이 있었음을 간증합니다.

그간 주님을 더 많이 누릴 수 있었고 생명의 흐름 안에서 총회신학교 교수님들과 신배 목사님들과의 만남 속에서 늘 살아계신 그리스도를 교통할 수 있는 시간과 화정을 안배하여 주신 하나님께 영광을 돌립니다.

아름다운 감동과 우르에 서 부르시고(창세기11:1)

3) 사울을 다메섹 도상에 서 백한 나의 그릇이라 부르신 주님이 진흙 가운데 머물러 있던 나를 태워시고 부르시어 공용의 그릇으로 예비하시어 영광의 부르심을 알게 하셨습니다. 저는 오직 공용하여 기쁘게 하신 주님께 감사드립니다.

주님의 이름을 부르며 주님과 동행하는 삶을 살아가며 내 안에 마치는 데해가며 나 자신의 결사 람은 더 과해되어 그분의 영광으로 이끌려갑니다.

이러한 영광스러운 빛이 나의 인생을 돌이켜 보게 했으며 새롭게 변화를 받아 이전에 관심있던 모든 것들은 마치 사라지며

3) 사울을 다메섹 도상에 서 백한 나의 그릇이라 부르신 주님이 진흙 가운데 머물러 있던 나를 태워시고 부르시어 공용의 그릇으로 예비하시어 영광의 부르심을 알게 하셨습니다. 저는 오직 공용하여 기쁘게 하신 주님께 감사드립니다.

주님의 이름을 부르며 주님과 동행하는 삶을 살아가며 내 안에 마치는 데해가며 나 자신의 결사 람은 더 과해되어 그분의 영광으로 이끌려갑니다.

이러한 영광스러운 빛이 나의 인생을 돌이켜 보게 했으며 새롭게 변화를 받아 이전에 관심있던 모든 것들은 마치 사라지며



중부지방교회여성회의 청년부主催による1日研修会が1月19日、「ひいらぎの垣根をこえて」の著者である佐々木雅子さんを迎えて、名古屋教会にて開催された。佐々木さんは、日本基督教団事務局で37年間勤務され、日韓連帯特別委員会などに携わってこられた方である。

研修会(司会・裴美子青年部長)では、「隔ての壁」と題しての講演があった。日本のハンセン病に対する偏見が、90年にわたる徹底した隔離政策を行ってきたこと、その隔離政策は文明国を自負する日本が放浪生活をおくるハンセン病患者の姿を「国の恥」として隠蔽するためであったことなどが語られた。また、患者の方々がこれまでいかに人としての尊厳を踏みにじられてきたかということも学んだ。

講演後は、高齢の元患者がボランティアの在日3世の女性とともに生まれ故郷を訪問するドキュメントのビデオ上映が行われた。続いて、佐々木さんの著

部会 中女性 1日研修会を開催
元ハンセン病患者差別学ぶ

作に収められている元患者の安達任さんの身世打鈴が妻部長によって、淡々と読み進められた(予定では、この時間、安達さんを迎えて、直接話しを聞くことになっていて、ご本人の手術のため実現には至らなかった)。

これまで私たちは、「ひいらぎ」をクリスマスに目にする喜びの植物であると思っていた。しかし、この役割を担っていたのだという話を、講演を通じて知らされた。らい療養所の周囲に高々と植えられた「ひいらぎ」は、患者の逃亡を防ぐための壁であった。

(報告・朴成子)

部会 西地 「信徒の集い」開く
武庫川教会に約100名が集まる

西部地方会壮年会・女性会・青年会の共催による第11回「信徒の集い」が、11月30日、武庫川教会において約100名の参加のもと開催された。

「信徒の集い」は、各会間の交流が少なく、各々の活動が分かっていくなどの意見を受けて、各会間の円滑な関係作りを目的として始められたプログラムである。

1部礼拝は、青年会会長の李牧子姉妹の司会で始まり、青年会の特別讃美の後、中江洋一牧師(広島)による「あなたを待つておられる主」という題目でのメッセージがなされた。私たちの心の戸をたたいて待つておられる主に私たちが心の扉を開き、主と交わることの大切さや、主を信じるものが互いに心を交わること祈り合うこと

が増し、主の御声に希望を失うことなく応えることができるようになる、と語られた。また、アドベントを迎え、教会暦上の新年に「信徒の集い」が開催されたことの意味を意識しつつ、これからも続けていくことができるようにとの

報告がなされた他、武庫川教会青年会の讃美があり、楽しい雰囲気うちに閉会した。

(報告・實景淑)

金秀生長老将立式
名古屋教会で開催



12月28日、名古屋教会において、金秀生長老の将立式が行われた。司式は中部地方会会長の金承弼牧師(大垣)、司会は名古屋教会臨時堂会長の朴茂樹牧師(浜松)がそれぞれ担当した。金承弼牧師による「仕える者(サムエル)」(マルコ9:33-37)と題したメッセージの後、誓約・按手祈禱がなされ、司式者によつて長老将立が宣布された。その後、金秀生長老(豊橋)と裴明徳牧師(岡崎)に



在日大韓基督教会西地地方会 第1回 信徒の集い

よる勸勉、金英世長老(岐阜)と康興富牧師(四日市)による祝辞があり、黄義生名譽牧師(名古屋)の祝辞をもつて式は終了した。

将立式に続いて開かれた祝賀会では、年末の忙しい時期にもかかわらず、女性会の方々が心をこめて準備した料理を囲み、喜びの時を分かち合った。また、教会の各機関や有志の信徒から、祝いの言葉や讃美のプレゼントが贈られた。

金秀生長老は1961年に山口県宇部市にて出生。79年に宇部教会にて金承弼牧師より受洗した。86年に名古屋教会に転入した後、青年会員、教会学校教師として奉仕した。91年より執

住所変更

●千葉教会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-6
5F 電話043-247-3201

●山形伝道所・韓在文牧師宅
〒994-0022 山形県天童市桜町8-21 電話023-651-2868

●朴時永牧師宅
〒143-7556 서울시 광진구 광운동353 장로회신학대학교 세계선교연구원 406호 電話02-447-1486

●尹初子長老宅電話
049-257-2025

●金道子長老宅電話
043-208-0242

『在日大韓基督教会 宣教90周年記念誌』刊行

○78の個教会・伝道所の歩み
○5地方会の歴史
○青年会・女性会の歴史
○宣教90年の歴史年表
(口絵7ページ/本文438ページ)
定価●4500円(送料含む)
◆お申し込みは、各教会に。

海外旅行はマイカーで
自宅⇄空港の移動は絶対オススメです
有限会社 聖永商事
免税店 聖永商事
関西国際空港駐車場
デリバリーパーキング関空
VIPカーデリバリ関空

会 長 禹 永 吉(関空伝道所 長老)
代表取締役社長 禹 辰 磨(関空伝道所)

本社: 〒598-0045 大阪府泉佐野市松原2-5-6
TEL.0724-64-3719 FAX.0724-64-3503
フリーダイヤル: 0120-69-0775
E-mail: seiei@startpage.co.jp

愛三グループ
愛三産業株式会社
済州カントリー倶楽部

代表取締役社長 白 一 善

本社 東京都墨田区江東橋4-6-4 TEL (03) 3633-7477(代)
済州C・C 韓国済州市寧坪洞2238-2 TEL (064) 702-0451(代)
ソウル事務所 韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167 TEL (02) 739-3327(代)

私たちは、外登法の抜本的改正を求める第18回全国キリスト者集会を、さまざまな国籍、民族の兄弟姉妹たちと共に開催できたことを、神に深く感謝する。神がこの私たちの取り組みを祝福してくださり、今後とも各教派・団体、各教会のなかで「宣教の課題」として担われていくことを願う。また折り返し、以下のことを表明する。

外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会(外キ協)は、1月22日から大阪の在日韓国基督教教会館(KCC)において、韓国基督教教会協議会、各地外キ連および外キ協加盟各教派・団体の代表の参加のもと、第18回全国協議会を開催した。そして今日、カトリック大阪カテドラル聖マリア大聖堂において、「外国人が暮らしやすい社会は、日本人にも暮らしやすい」というテーマで、全国キリスト者集会を開催した。

2002年9月17日の小泉首相の朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)訪問から1年以上が過ぎた。しかし9・17以降、日本では歴史責任を棚上げにして、日本人拉致問題と北朝鮮の核兵器開発問題だけが取り上げられ、「北朝鮮ハッシング」が続いている。戦後補償への国家的取り組みも等閑にされたままであり、自民族中心主義・排外主義による国家主義が公然と台頭している。今年1月1日、小泉首相は靖国神社に公式参拝した。そして自衛隊の「戦時海外派兵」までもが開始されてしまった。

さらに「北朝鮮ハッシング」は、最悪にも子どもを標的にし、在日韓国・朝鮮人、とくに朝鮮学校に通う児童・生徒たちへの嫌がらせ・暴行が今なお続いている。そして、政治家たちによる暴言が繰り返されている。昨年5月の麻生暴言、7月の江藤暴言に続いて、10月には石原慎太郎・東京都知事が「日本の韓国併合は」武力で侵犯したんじゃない」「どちらかといえば彼らの先祖の責任」「植民地主義といっても、最も進んでいて、人間的に松沢成文・神奈川県知事は「外国人はみんなコソ泥」と放言した。さらに10月17日、法務省入国管理局、東京入国管理局、東京都警視庁の4者は、「首都東京における不法滞在外国人対策の強化に関する共同宣言」を発表し、超過滞在の移住労働者の摘発と収容、強制送還に乗り出した。

歴史を振り返る時、戦争に向けて軍隊を準備する時代には、外国人を敵視し排斥しようとする風潮が「日本人かどうかわからない」という差別化によって価値がはかられ、戦争の大義が形成されていく。外国人を排斥しようとする時代は、戦争へと人びとを動員する時代なのである。

文部科学省は昨年9月、外国人学校卒業生の大学入学資格に関する省令を改定した。そこでは、インターナショナルスクールや韓国学校、ドイツ人学校などは大学入学資格を認めるが、朝鮮学校卒業生の入学資格については各大学の個別審査に委ねた。これは恣意的な差別政策である。さらに朝鮮学校やブラジル人学校、ペルー人学校などに対する

2004年/第18回外登法の抜本的改正を求める 全国キリスト者1・24集会宣言

治法第10条が定める「住民」であることを確認し、住民自治・地方自治の担い手としてその参加の道を認めることが必要である。昨年7月、「移住労働者」とその家族の権利保護条約が国際人権条約として発効した。これは、移住労働者の権利を包括的に保障するものであり、市場経済至上主義の支配する時代の中にあって、移住労働者受け入れ国である日本は批准を急がなければならない。私たちは、この世界において平和と正義を実現するために、共に歩み続けることを決意する。

暴力と憎しみ、対立と報復が連鎖し続ける今日、私たちが立ち帰らなければならないのは「和解と共生」の福音である。これは、歴史を直視し、他者と共に生きようとする祈り、意志、努力によって実現するのである。キリストによって、天と地、人と人の和解と共生を打ち立てられた平和の神が、私たちの運動を豊かに用いてくださるようになり、主のみこころを信じ、今年も共に歩んでいこう。

●政府および関係諸機関への要求項目
1、政府および国会は外国人住民の包括的な人権保障のため「外国人住民基本法」を制定すること。
2、国際人権条約に基づく「人種差別禁止法」を制定し、政府行政機関から独立した「人権委員会」を創設すること。
3、在日韓国・朝鮮人など

旧植民地出身者とその子孫に対して日本の歴史責任を明記し、民族的マイノリティとしての地位と権利を保障する「在日基本法」を制定すること。
4、昨年7月に国際人権条約として発効した「すべての移住労働者とその家族の権利保護条約」をすみやかに批准すること。
5、未登録移住労働者の合法化と難民申請者の在留資格付与を積極的に推進し、外国人研修制度を廃止するなど、出入国管理及び難民認定法の抜本的改正を行なうこと。
6、地方自治体は、在留資格の有無や違いにかかわらず、外国人住民の生活権を保障すると共に、外国人住民の住民自治・地方自治参画を積極的に推進すること。
7、国会は、「戦時性的強制被害者問題解決促進法案」「恒久平和調査局設

置法案」をすみやかに制定すること。
8、政府は、日朝国交正常化交渉をただちに再開し、日本人拉致被害者とその家族の自由往来が実現するよう努力を傾けること。そして、歴史の真の清算と和解に導く日朝条約を締結すること。
●私たちの取り組み
1、「外国人住民基本法」制定運動を強化する。
2、日本の歴史教科書の歪曲を許さず、日・韓・在日教会が、その出会いと学びをさらに深めるよう歴史学習への取り組みを強化する。その一環として「歴史をひらくとき」改定版を出版する。
3、韓国教会の「在日同胞苦難の現場訪問プログラム」を継続し、日本・在日教会の「歴史現場訪問プログラム」を開始する。
4、「在日・日・韓キリスト青年共同研修プログラム」を積極的に支援する。
2004年1月24日

私たちは、外登法の抜本的改正を求める第18回全国キリスト者集会を、さまざまな国籍、民族の兄弟姉妹たちと共に開催できたことを、神に深く感謝する。神がこの私たちの取り組みを祝福してくださり、今後とも各教派・団体、各教会のなかで「宣教の課題」として担われていくことを願う。また折り返し、以下のことを表明する。

外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会(外キ協)は、1月22日から大阪の在日韓国基督教教会館(KCC)において、韓国基督教教会協議会、各地外キ連および外キ協加盟各教派・団体の代表の参加のもと、第18回全国協議会を開催した。そして今日、カトリック大阪カテドラル聖マリア大聖堂において、「外国人が暮らしやすい社会は、日本人にも暮らしやすい」というテーマで、全国キリスト者集会を開催した。

2002年9月17日の小泉首相の朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)訪問から1年以上が過ぎた。しかし9・17以降、日本では歴史責任を棚上げにして、日本人拉致問題と北朝鮮の核兵器開発問題だけが取り上げられ、「北朝鮮ハッシング」が続いている。戦後補償への国家的取り組みも等閑にされたままであり、自民族中心主義・排外主義による国家主義が公然と台頭している。今年1月1日、小泉首相は靖国神社に公式参拝した。そして自衛隊の「戦時海外派兵」までもが開始されてしまった。

さらに「北朝鮮ハッシング」は、最悪にも子どもを標的にし、在日韓国・朝鮮人、とくに朝鮮学校に通う児童・生徒たちへの嫌がらせ・暴行が今なお続いている。そして、政治家たちによる暴言が繰り返されている。昨年5月の麻生暴言、7月の江藤暴言に続いて、10月には石原慎太郎・東京都知事が「日本の韓国併合は」武力で侵犯したんじゃない」「どちらかといえば彼らの先祖の責任」「植民地主義といっても、最も進んでいて、人間的に松沢成文・神奈川県知事は「外国人はみんなコソ泥」と放言した。さらに10月17日、法務省入国管理局、東京入国管理局、東京都警視庁の4者は、「首都東京における不法滞在外国人対策の強化に関する共同宣言」を発表し、超過滞在の移住労働者の摘発と収容、強制送還に乗り出した。

歴史を振り返る時、戦争に向けて軍隊を準備する時代には、外国人を敵視し排斥しようとする風潮が「日本人かどうかわからない」という差別化によって価値がはかられ、戦争の大義が形成されていく。外国人を排斥しようとする時代は、戦争へと人びとを動員する時代なのである。

文部科学省は昨年9月、外国人学校卒業生の大学入学資格に関する省令を改定した。そこでは、インターナショナルスクールや韓国学校、ドイツ人学校などは大学入学資格を認めるが、朝鮮学校卒業生の入学資格については各大学の個別審査に委ねた。これは恣意的な差別政策である。さらに朝鮮学校やブラジル人学校、ペルー人学校などに対する

旧植民地出身者とその子孫に対して日本の歴史責任を明記し、民族的マイノリティとしての地位と権利を保障する「在日基本法」を制定すること。
4、昨年7月に国際人権条約として発効した「すべての移住労働者とその家族の権利保護条約」をすみやかに批准すること。
5、未登録移住労働者の合法化と難民申請者の在留資格付与を積極的に推進し、外国人研修制度を廃止するなど、出入国管理及び難民認定法の抜本的改正を行なうこと。
6、地方自治体は、在留資格の有無や違いにかかわらず、外国人住民の生活権を保障すると共に、外国人住民の住民自治・地方自治参画を積極的に推進すること。
7、国会は、「戦時性的強制被害者問題解決促進法案」「恒久平和調査局設

置法案」をすみやかに制定すること。
8、政府は、日朝国交正常化交渉をただちに再開し、日本人拉致被害者とその家族の自由往来が実現するよう努力を傾けること。そして、歴史の真の清算と和解に導く日朝条約を締結すること。
●私たちの取り組み
1、「外国人住民基本法」制定運動を強化する。
2、日本の歴史教科書の歪曲を許さず、日・韓・在日教会が、その出会いと学びをさらに深めるよう歴史学習への取り組みを強化する。その一環として「歴史をひらくとき」改定版を出版する。
3、韓国教会の「在日同胞苦難の現場訪問プログラム」を継続し、日本・在日教会の「歴史現場訪問プログラム」を開始する。
4、「在日・日・韓キリスト青年共同研修プログラム」を積極的に支援する。
2004年1月24日

「平和をつくりだす
青年は幸いである」
NCC青年委員会主催の非暴力セミナー開催
1月11・12日、日本キリスト教協議会(NCC)青年委員会主催の非暴力セミナーが「平和と和解の現実」をテーマに、日野ラサール研修所にて行われた。参加者は、7つの教派・団体からの計15名で、KCCJからは崔理英・金相勲・殷俊一(3名)が参加した。

プログラムは、3セッションに分けたワークショップを中心としたものであり、ファシリテーターにオウノミチオさん(日本友和会)を迎えて進められた。まずセッション1では、「暴力」という言葉から連想されることや、「暴力」が行われていると思う現場を紙に書き出した。参加者がと話を話し手を確認する、という方法だった。実際にやってみて、それまで自分が思っていた以上に相手



韓日対照聖書・讃頌歌 セット 期間限定販売

期 間：2004年3月1日～5月31日
セット価格：4,000円(税込・送料別)
※売り上げの10%は、日本ろう福音協会と日本聖書協会が進めている手話訳聖書の製作のために捧げられます。

●申込みは、在日大韓基督教教会総会事務所に

総会神学生奨学金 申請募集要項

総会の神学生として承認後一年間を経過した方は、奨学金の申請をすることができます。申請用紙及び問い合わせは総会まで。

金額：年額二〇〇、〇〇〇円
期間：一年間

必要書類：①奨学金申請書 ②在学証明書 ③成績証明書 ④履歴書 ⑤堂会長推薦書 ⑥総会神学生認定書(地方会試取部) ⑦地方会会長承認書

う直せば良いのかで悩んでしまうこともあった。普段の何気ない会話の中にも暴力的な表現が多く含まれていることに気づかされるセッションだった。

今回のセミナーの目的は、平和の実現のための手がかりを模索することであつたが、参加者がそれぞれの会話の中で「非暴力」を意識するためのヒントを見つけていくことができる内容であつた。

(報告：殷俊一)